



創立113周年記念式典・祝賀会

令和元年6月1日(土)午前10時30分から、生命歯学部富士見ホールにて創立113周年記念式典が厳かに執り行われた。本学教職員と、新潟生命歯学部学生の代表者、校友会会員等の約300名が参列した。名誉博士号に近藤悦子先生(54)、ベストティーチャー賞には発生再生学の井出吉昭先生(90)、小児歯科学の三瓶伸也先生(86)が授与された。永年勤続30年、20年の表彰も行われた。

卒後50年と25年の校友会会員には同日に特別参列制度(ジュビリー5025)があり、大学と校友会よりお祝いされた。校友会会員の卒後

50年(58回)34名、卒後25年(83回)27名に校友会から各々のゴールドバッジ、シルバーバッジと卒業時の日本歯科大学新聞が贈られた。大学からは中原實作絵画の図書カードと祝賀会に招待された。

毎年この日は、大学のご好意で生命歯学部図書館が特別開館されている。歯学専門資料を中心に関連領域の蔵書13万冊、閲覧席126席を有するため、今回も多くの参加者が見学された。

ホテルグランドパレスでの大学主催祝賀会では、大学教職員と各種受賞者が懐かしくも楽しい時間を過ごすことができた。

校友会主催「D Muse 2019」開催



平成31年4月21日(日)に校友会会員を対象とした「D Muse 2019」が生命歯学部にて開催されました。参加者は100名を超え、生命歯学部、新潟生命歯学部からも学生さんが多数参加していました。独立行政法人 国立病院機構 東京医療センター総合内科医長の本田 美和子先生による講演の後、生命歯学部アンサンブル部の演奏を楽しみながら懇親会が行われました。講演は学生の皆さんにも分かりやすい内容で、懇親会では多くの先生と親交が深められるため、「D Muse」は幅広い知識が得られる大変有意義なイベントです。学生の皆さんは無料で参加でき、また、卒業後も校友会会員は会員価格で参加できるので、次回以降も是非お気軽に参加してみてください。

校友会からのご挨拶



近藤勝洪 会長

平成25年に東京・新潟の学生諸君と校友会を結ぶ機関誌としてKOYU Timesは創刊されました。学生諸君に日本歯科大学校友会を知ってもらい、やがて校友会員となり我々の仲間になってもらいたいという初期の目的は果たせたのではないかと考えています。

記事の内容も少しずつ変化しながら、より学生諸君に密着したのようになってきているように感じています。

皆さんが学んでいる日本歯科大学は、わが国で最も優れた教育、研究、診療を行っています。今年もまた、学生諸君が東京・新潟生命歯学部に入學しました。また、短期大学(歯科衛生学科、歯科技工学科)にも多くの若い学生が入學しています。

今年入學した1年生と歯科医師国家試験合格に向けて勉強に励む6年生では、毎日の環境が異なることはもちろんですが、目的の一つです。校友会は、皆さんの役に立ちたいと考えています。何でも相談してください。

国家試験体験記

私は今年卒業し、4月から日本歯科大学附属病院で研修を行っております。

国家試験までの勉強方法をお話しさせていただきますので少しでも参考になれば幸いです。

まず本学は4年生までに国試に必要な一通りの内容は終えているので、この4年間で授業中のわからない単語や臨床の治療の手順などを先生方に質問したり、教科書で調べたりして理解をしておくと5年の臨床実習で役に立ちますし、6年で調べる時間を他の勉強時間に充てることができます。わからないことを曖昧にしたままにすると後々時間のない6年になってから、

必ず調べることになるので、早いうちから調べ理解をすることをお勧めします。

5年生では6年間で一番臨床に触れる一年なので、先生方の診療をしっかりと見て自分の知らないことをやっていたら質問を積極的にしてみましょう。文章だけの勉強より実際見たことの方が記憶に残りやすいと思います。

6年生では模試が沢山あります。模試は自分の苦手なところがわかるので、点数よりもどこを間違えたのかをしっかりと把握することが大切です。私は模試で間違えた問題などを1冊のノートにまとめていました。

最近は国家試験の難易度も高く、大学の授業でちらっと聞いたことがあるなという程度のも

のが出たりしますのでしっかりと授業を聞くことが大切だと思います。

時々、授業プリントを読むのが苦手と参考書のみで勉強する人もいますが、私は基本的には授業プリントをしっかりと読み込むようにしていました。補足でわからないことやプリントでは不十分なところがあれば、参考書や教科書を開いて知識を深めました。勉強の仕方は人それぞれなので、早めに自分の勉強のスタイルを確立することが重要です。皆様の国家試験合格を心からお祈りしております。



管理型
長期プログラム
臨床研修歯科医
黒川 理佐子
(108回)

富士見浜浦フェスタ(平成31年4月26~27日)・合同合宿(平成31年4月27日から5日間)に参加して

東京



このたびは星野リゾートアルツ磐梯に、東京と新潟キャンパスの学生が一堂に会し、富士見・浜浦フェスタを行いました。伝統ある日本歯科大学の学生として、最短で歯科医師になることをテーマにグループワークを行い、交流を深めました。年々難しくなる歯科医師国家試験に合格するために各キャンパスの特色を活かし、情報共有・連携の大切さを痛感しました。来たるCBT、国家試験で良い結果を出せるよう共に力を合わせていきたいと思います。その後の合同合宿では、天候にも恵まれ、歯学体に向けて有意義な練習が行えました。丸峰観光ホテルで行われた慰労会では新潟キャンパスや他部活の、多くの仲間たちと親睦を深めることができました。

今回の経験を糧にし、CBTと歯学体に向け、文武両道を目指し精進していきたいと思います。

生命歯学部4年 吉江 峻



新潟



今年の合同合宿も5日間の日程で行われました。開会式は猪苗代町の「学びいな」、閉会式は丸峰観光ホテルにて執り行いました。今回私は所属する硬式庭球部の練習に1人の部員として取り組むことはなく、合同合宿の運営側として活動させていただきました。

合同合宿は同じ目標を持った仲間が集い、仲間と共に一つのことに真剣に取り組み、お互い切磋琢磨し合うことのできる貴重な行事です。普段は会うことのできない東京校の学生にも会うことができ、交友関係も広がります。

最後になりますが、今回の合同合宿でお世話になりました磐梯スポーツ村の方々並びに丸峰観光ホテルの方々、本学の関係者の方々、誠にありがとうございます。

新潟生命歯学部4年 合同合宿実行委員長
黒澤未聖



袖ヶ浦セミナー 東京

4月10日(水)、自分の歯科医師将来像を思い、期待と不安を抱きながら袖ヶ浦セミナーに向かいました。あいにくの冷たい雨、バスに分乗し一路マザー牧場へ。医療人はコミュニケーション能力が求められることを自覚してか？ 車内では話が盛り上がり笑い声が絶えることはありませんでした。マザー牧場に到着、5~6人のテーブルに分かれてジンギスカン料理を食べながら団欒、お櫃のご飯をお代わりして満腹。外は冷たい風雨、牧場散策はショートコースで済ませ、ソフトクリームコーナーへ。満腹なのに甘物は別腹なのでしょう。その後、袖ヶ浦セミナーハウスに移動。打ち解けた雰囲気の中で自己紹介が始まりました。出身地、卒業高校など、この1日でお互いを知る機会とこれから6年間大学生活を送る仲間の絆が生まれたことでしょう。



日本歯科大学体育会設立 50 周年記念祝賀会 並びに体育館竣工 50 周年記念開催さる



春の陽気に恵まれた平成31年4月20日(土)午後6時からホテルメトロポリタンエドモント「悠久」において標記の会が313名参加のもと盛大に開催されました。

当日は東京と新潟の体育会OBや各運動部OB・OGや一部の現役運動部の学生さんが一堂に集い「50年の歩み」と題した各学年の思い出の写真を解説付きでスライドショーが行われ、更に各学年の代表者が飛入りで写真に纏わる解説を行ったりして楽しい時間を過ごしました。

現役の運動部の学生さんも卒業してから校友会に入会して、学生時代の先輩後輩たちとこのような会に参加して思い出を共有してください。

校友会・学生会共催 第3学年特別講義

Tokyo 令和元年5月9日(木) 18:00～

場所：日本歯科大学生命歯学部九段ホール

講師：里見貴史先生(79回)

演題：私の卒後研修 ～口腔外科30年の歩み～



今回の里見先生の特別講義は、とても刺激的であり、現在3年生を過ごしている私たちにとってぴったりの内容だったと感じた。3年に入り、毎回の授業で、去年の内容の定着不足を痛感させられていたが、様々な教科の積み重ねで専門的知識が成り立っているということを、講義を通して改めて気付くことができた。私たちの先輩である先生の、在学中の様子や世界で輝かしくご活躍をされているお話を聞いて、成績に関係なくやる気があればいつからでも変わることができるということで、自分にもできると希望を持つことができた。私も里見先生のように柔軟な考えを持ち、人生の分かれ道が来たら、変化を恐れずまずやってみようと思った。

生命歯学部3年 秋野友希



Niigata 令和元年5月16日(木) 16:20～

場所：日本歯科大学新潟生命歯学部アイヴィホール

講師：中原 貴先生(88回)

演題：夢のバイオ再生医療を実現する歯髄細胞のポテンシャル



近年、ニュースや新聞などでよく耳にする再生医療という言葉だが、生命歯学部発生・再生医科学講座の中原 貴先生が「バイオ再生医療と歯の細胞バンク」というテーマの特別講義をしてくださった。再生医療というとES細胞やiPS細胞をイメージしていたが、歯の歯髄細胞による再生医療の研究が進んでいるということは初めて知ったし、これまで廃棄していた抜去歯を医療に生かせるということは素晴らしいことだと思った。また、本学がわが国初の「歯の細胞バンク外来」を開設するなど、この分野で日本をリードする存在であるとともに、歯の細胞バンクを患者福祉の一環であるとし、利益を求めていると聞いて、本学の学生であることを誇らしく感じた。

今後研究がさらに進んでいき、歯科医師はより広範な医療の知識が求められることになる。だから、より一層勉学に励み、立派な歯科医師になりたいと思った。

新潟生命歯学部3年 田代瑞木



オリエンテーション合宿 新潟



平成31年4月6日(土)に月岡温泉華鳳にて第1学年オリエンテーション合宿に参加しました。

歯学生になって間もないとはいえ、知識、コミュニケーション能力が私の想像をはるかに超える1学年の仲間もあり、歯科医師になるにあたって身につけなければならない力だと痛感させられました。また、苦手な分野があってもこの仲間ならお互いに助け合い、皆で向上していくことができると確信することもできました。ホテルでの食事はどれも美味しく、露天風呂も素晴らしかったです。特に露天風呂は仲間と交流を広げるとても良い機会でした。

講義では、低学年のうちからしっかりと基礎学力をコツコツ蓄積すれば、進級・国家試験も恐れる必要はないと、私たちを鼓舞して下さる内容のお話を聞けました。私はこの日本歯科大学新潟生命歯学部で6年間学んでいく覚悟を決めると同時に、この大学を選んで良かったと思いました。

新潟生命歯学部1年 布施瑞月



平成30年度校友会 スポーツ・文化・学術大賞 校友会 特別表彰

平成30年度校友会 スポーツ・文化・学術大賞の表彰式が、平成31年4月27日(土)午後2時から桜が満開の福島県猪苗代町の体験交流館「学びいな」にて、両学部250余名の学生参加による合同合宿開会式の中で行われました。藤井重壽校友会副会長から学生たちへの激励の挨拶があり、合同合宿実行委員長の福井里奈さん(東京・4年)、黒澤末聖さん(新潟・4年)へお祝いの金一封が渡されました。また、スポーツ・文化・学術大賞として、生命歯学部からは第50回歯学部硬式テニス部総合準優勝(女子優勝)代表として四宮田 壮君(5年)、五藤早希さん(5年)と新潟生命歯学部からは第50回歯学部バドミントン部総合準優勝(女子団体優勝)代表として小林由奈さん(4年)が受賞、それぞれに校友会から表彰状と金一封が贈られました。

このたびは、輝かしい賞を頂戴し、大変光栄に思います。硬式庭球部は昨年度の歯学部で総合準優勝という成績を収めることができました。この結果を勝ち取ることができたのも、多くのOB先生方のご指導、そして全部員の力が結束したからこそだと思います。今後も現状に甘んじることなく、文武両道を目指し、日々精進して参りたいと思います。

生命歯学部5年 四宮田 壮



バドミントン部の昨年の歯学部の結果は、女子団体優勝、女子ダブルス優勝でした。部員の日々の努力がこのような良い結果につながり、このスポーツ・文化・学術大賞という素晴らしい賞をいただけることを大変嬉しく思っています。今年度も練習に励み、良い成績を収められるように部員一丸となってがんばりたいと思います。

新潟生命歯学部4年 小林由奈



千葉県人会の報告



今回で10回目を迎える千葉県人会が、令和元年5月10日(金)午後6時30分より、飯田橋ラムラ20階の「北海道」にて開催されました。千葉県校友会会長の秋場透先生(63回)をはじめとした8名の校友会会員の先生方と三代冬彦病院長(72回)を含めた大学内の先生方10名、新入生1名を含む在校生14名の総勢32名が集いました。

多くの先生方からお話を伺うことができ、千葉県での医療の現状や私たちが将来あるべき歯科医師像、また日々学ぶことの大切さや、同じ地域で働く仲間との連携がいかに重要であるかということを確認する貴重な機会となりました。このような有意義な千葉県人会を開催していただきましたことに、心より感謝いたします。先生方のますますのご活躍をお祈り申し上げます。

生命歯学部3年 奥 祐輝



KOYU Quiz

Q. 薬物による口腔内有害作用の写真です。原因となる薬物はどれでしょう。



- a: 抗血栓薬
- b: Ca拮抗薬
- c: ACE阻害薬
- d: 酸性 NSAIDs
- e: 抗ヒスタミン薬

正解はb: Ca拮抗薬です。Ca拮抗薬は、血管を拡張させる作用があり、歯肉の腫れ（歯肉増殖）を引き起こすことがあります。これは、歯肉が歯の表面に過剰に増殖し、歯を覆ってしまう状態です。他の選択肢は、口腔内の有害作用を引き起こす可能性は低いです。

診療室での物語

カルテ No.23 人も犬も 歯磨きが大切



日本歯科大学
新潟病院
総合診療科 講師
高塩 智子
(87回)

私は総合診療科に所属する歯周病専門医です。歯周病は口の中のプラークが原因となり、歯ぐきが腫れたり歯がグラグラして抜けてしまう病気です。歯周病の治療や予防には歯磨きがとても大切です。患者さんには「歯を磨いてください」と嫌がられるくらいしつこく指導しています。そんな私ですが、我が家の飼い犬の歯磨きについて紹介させていただきます。

たいと思います。

我が家にはイタリアングレイハウンドという小型犬が2匹います。ポンペイの遺跡から発掘されたという、歴史の古い犬種です。暖かい地方が起源のためか、毛が短く、寒さに弱いです。性格は好奇心があり人懐っこいのが特徴です。我が家にいるのは12歳の雄と14歳の雌です。犬の中ではおじいちゃん、おばあちゃんの年齢です。若いころは元気で跳ね回っていましたが、今は毎日寝てばかりです。

犬も、シニアになると抵抗力が落ちて歯周病にかかりやすくなります。獣医さんから話を聞いたところ、歯磨きをしなくても犬は虫歯にはなりにくいのですが、人と同じように歯磨きをしないと歯石が付いてしまうそうです。歯石は歯周病が進む原因です。恥ずかしながら、我が家のシニア犬も例

外ではなく、歯磨きを怠けていたら、歯石がついてあっという間に歯周病が進みました。そこで私は使わなくなった学生時代の器具を使い、我が家の犬の歯石取りをしました。犬は人に比べて抵抗力が高いのか、歯石が取れた前歯の歯周病はすぐに良くなりました。しかし、奥歯の歯石が取れず、その周囲の歯ぐきは腫れたままでした。

ある日、犬の食欲がなく、ご飯を食べづらそうにしていました。口の中を見てみるとなんと、歯周病が進んで奥歯がグラグラしていました。獣医さんに連れて行ったところ、グラグラして歯ぐきが腫れた歯をそのままにしておくと、小型の犬は歯と頭の距離が短いので、歯ぐきを通して下顎や上顎の骨にバイ菌が入り、顎の骨が溶けて、目の周りの方まで腫れたり膿が出たりなどの重大な影響が出て

ることがあるそうです。食欲がなければ栄養も取れなく、さらに抵抗力が落ちるという悪循環になります。獣医さんに麻酔をかけて歯を抜いてもらい、その際に歯石を取って歯を磨いてもらいました。歯石を取ってきれいになった歯は、すっかり歯ぐきの腫れもなくなりました。

今、我が家の犬はご飯をモリモリ食べていますが、ご飯を食べづらそうにして食欲がなかったあの時は、口の中だけでなく、体力的にもとても辛かったのだと思います。犬は自分で歯を磨くことができません。今は、歯石がつかないように我が家の犬にも歯磨きをこまめにしています。美味しくご飯を食べ健康を維持するためには人も犬も歯を大切にしなければ、とさらに強く感じ、患者さんへの歯磨き指導もより熱心になる今日このごろなのでした。

東京

コピペしないレポートから始まる

研究倫理

著者：上岡洋晴

出版社：ライフサイエンス出版 出版年：2016/12

請求記号：W20.5/Ka38 登録番号：100035455

自分の言葉で論ずるため手法、論文とレポートの違い、研究者の心構えも学ぶ事ができる本書。コピペではない適切な引用方法、不正行為の起こる背景について具体例を用い、わかりやすくまとめられています。学生や若手研究者にも一度読んでいただきたい図書です。

●図書館開館情報

開館情報はQRコードから閲覧ください。



新潟

天野ドクターの歯周病絵本

バイオフィルム公園物語

著者：天野敦雄

出版社：クインテッセンス出版 出版年：2019

請求記号：D3.12-A

登録番号：000138369

バイオフィルムとは多種多様な細菌が織り成すミクロの共同体で、その中にはむし歯菌や歯周病菌がいます。バイオフィルムをひとつの「国」に、そこで暮らす細菌たちを「国民」にたとえて歯周病のメカニズムを解説している大人向けの絵本です。患者さんも歯科医療者も楽しめる一冊です。

●図書館開館情報

7月～9月の開館時間

平日 9:00～20:00 土曜日 10:00～17:00

・夏期休暇中の土曜日閉館

7月13日(土)～8月17日(土)

大掃除および一斉休暇による休館

8月9日(金)～8月18日(日)

校友の 歴史の重さ 手渡して 頼むぞ後輩 母校の未来 伝統を 守ってゆきます 我々も 富士見・浜浦 熱き心で

